

## 誌上学習会 4月号動画（読み取り案）

病院受診の際に手話通訳の依頼をするかどうか、何か分け方があるわけではありません。通訳が必要な場合というのは、とても大切なこと例えば息子や娘の耳の検査や詳しい説明を聞きたい時です。私は、ちょっとした腹痛くらいでは呼びませんが内容がとても難しい時は通訳を呼びます。

初めての病院受診の時は必ず手話通訳者と同行します。筆談や画面に文章を入力するなど病院のシステムも様々です。自分一人で対応できると思えば、3回目からは通訳依頼はしません。病院のシステムやその時の状態に合わせて通訳を依頼する、しないの判断をします。

今、病院にあったらよいと思うことは…。そうですねえ、通訳を呼ぶのは大変ですから、病院にタブレットのような情報機器があって遠隔手話通訳ができればもっと便利だと思います。例えば突然の腹痛で通訳をすぐに呼ぶことが難しい時など、遠隔手話通訳ができれば便利だと思います。それから100年いえ200年先かもしれませんが、腕時計から3Dの手話通訳者が現れ、その場で通訳できたらよいなあ。